

<目次>

I 基本的な使い方	1
II 【印刷機能】(有償オプション)の使い方	8
III 【傾き補正機能】(有償オプション)の使い方	10

## I 基本的な使い方

### 1. 写真を用意します

《加工に適した写真の例》

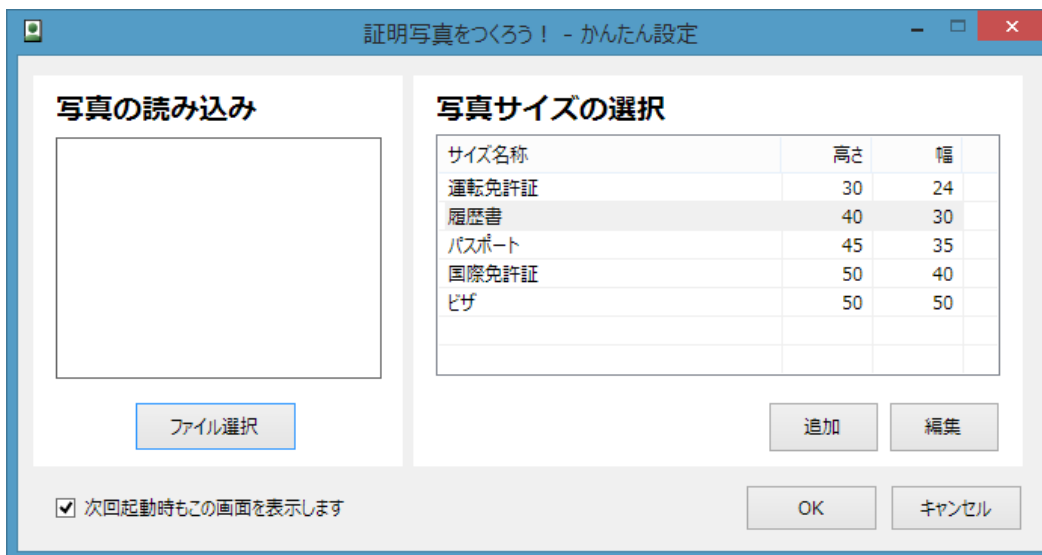


#### 撮影時のポイント

- ・なるべく無地の背景で（白い壁等）
- ・頭の上のスペースを多めに

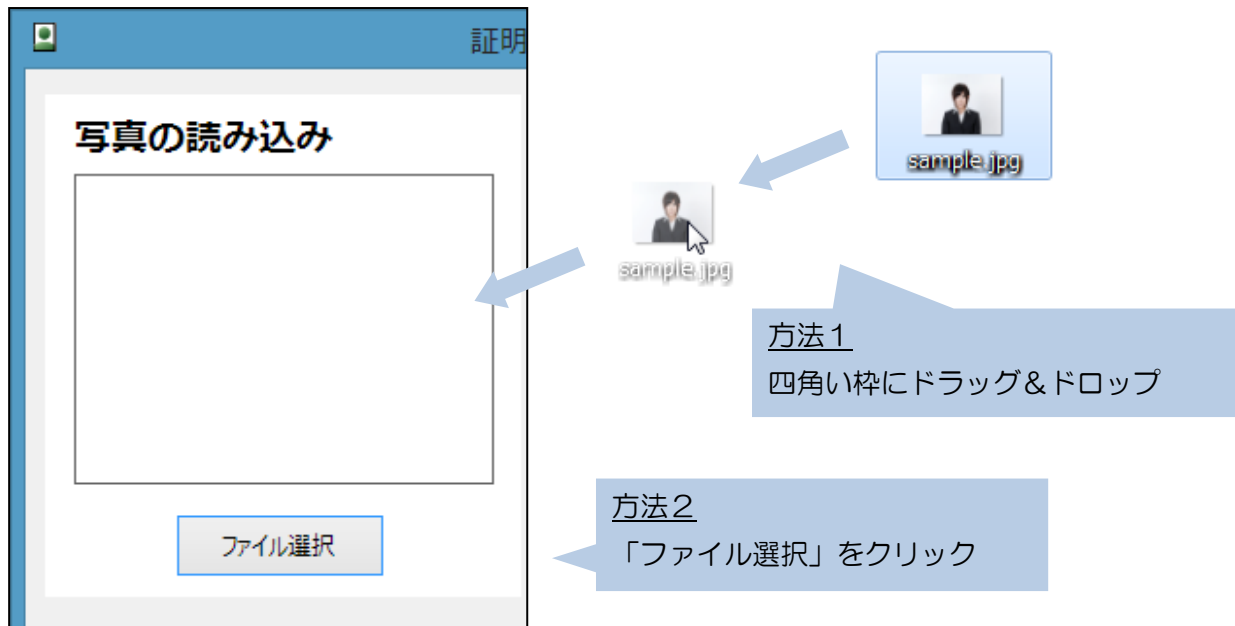
### 2. 『証明写真をつくろう!』を起動します

アプリを起動すると、「かんたん設定」画面が表示されます。

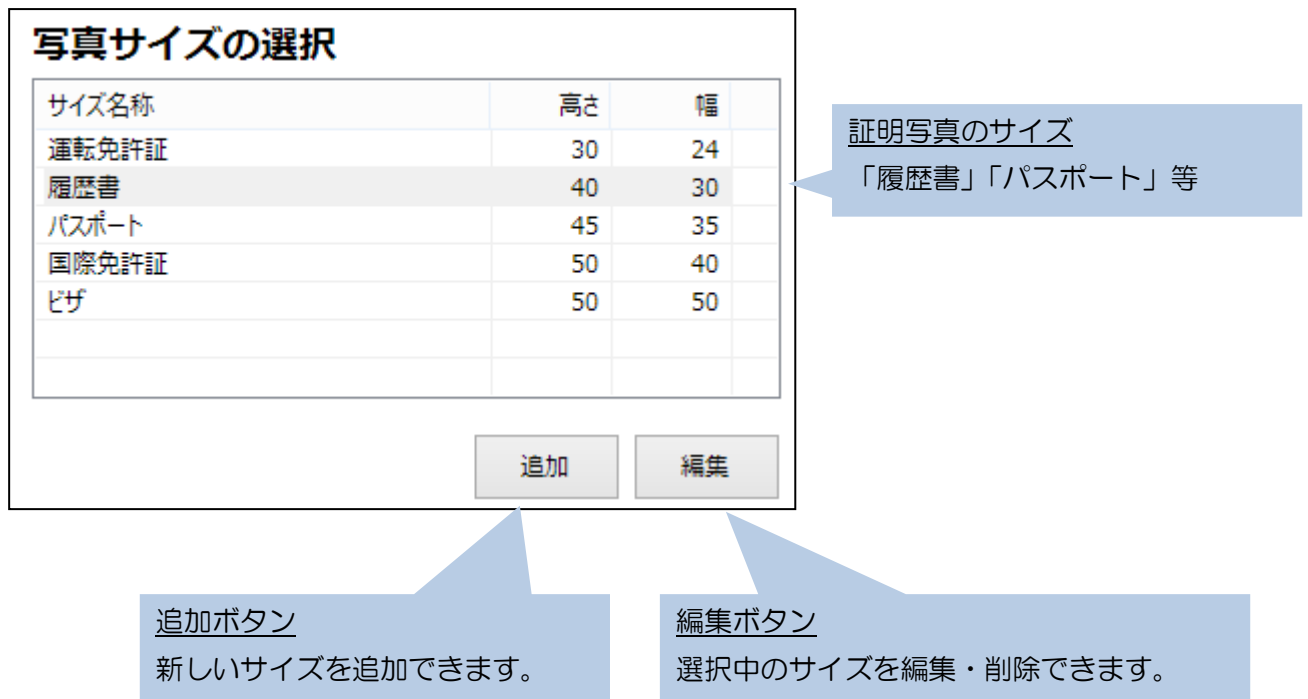


### 3. 「かんたん設定」画面を利用して、基本的な設定を行います

1. 証明写真にしたい写真を読み込みます。



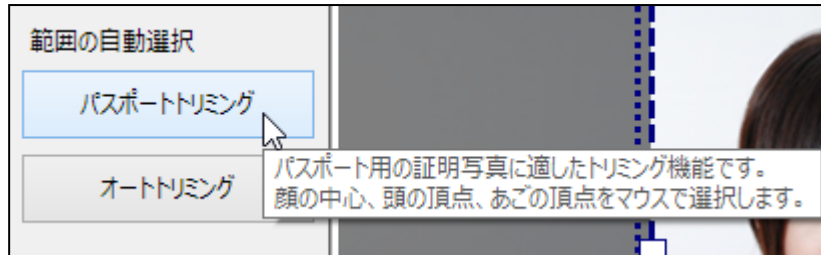
2. 写真のサイズを選択します。(一覧にない場合は、「追加」ボタンから作成できます)



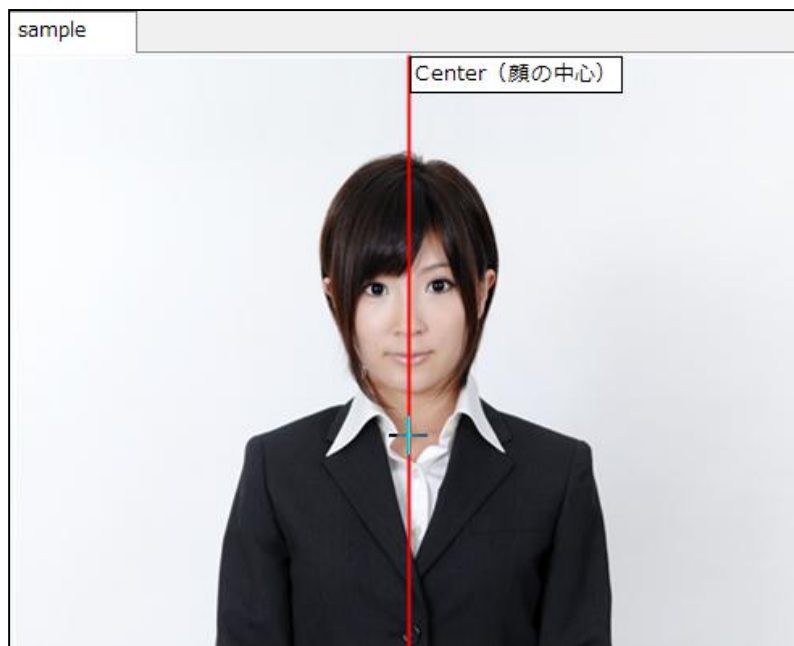
※一覧で右クリックした場合も、サイズの追加や編集・削除ができます。  
削除は「Del」キーも利用できます。

#### 4. パスポートトリミング機能を利用して、選択範囲を決定します

パスポートトリミング機能を利用すると、パスポート申請用の写真に適した写真を作成できます。  
左側のメニューから「パスポートトリミング」ボタンをクリックします。



1. 「顔の中心」を選択します。



赤いラインを顔の中央に  
合わせて、マウスでクリ  
ックします

2. 同様に、「頭の頂点」と「あごの頂点」を選択します。



3. 証明写真にする範囲が選択されます。



### 【パスポートトリミング機能】とは？

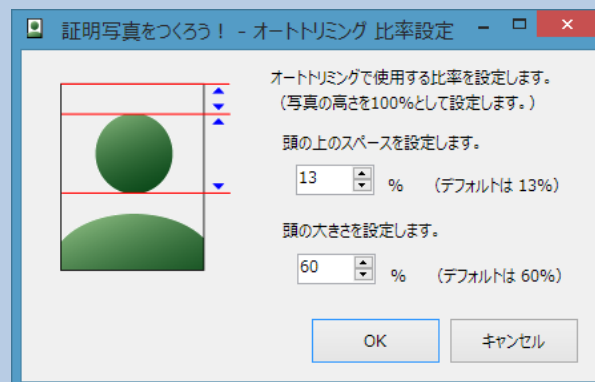
パスポート用写真は、写真に占める顔の大きさに基準が決められています。  
写真の縦の長さ 45mm に対して、頭上のスペースが  $4 \pm 2$ mm、顔のサイズが  $34 \pm 2$ mm に収まるようにする必要があります。（その他の基準については、外務省 HP を参照）

パスポートトリミング機能では、この基準に収まるようにトリミングが可能です。

### 【オートトリミング機能】と【パスポートトリミング機能】の違いについて

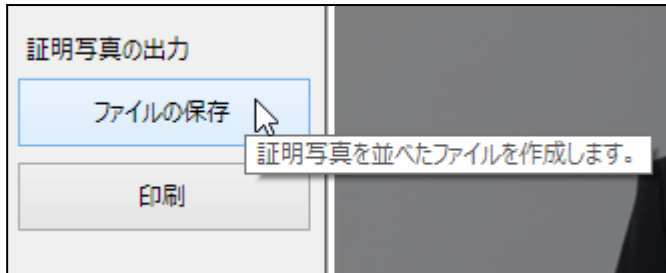
顔の 3 箇所を指定して、証明写真の範囲を選択するという基本的な機能は同じです。

【オートトリミング機能】では、  
頭上のスペースと、顔の大きさが  
占める比率を設定することができます。  
デフォルトの設定では、【パスポート  
トリミング】機能より顔が小さくなる  
比率で設定されています。

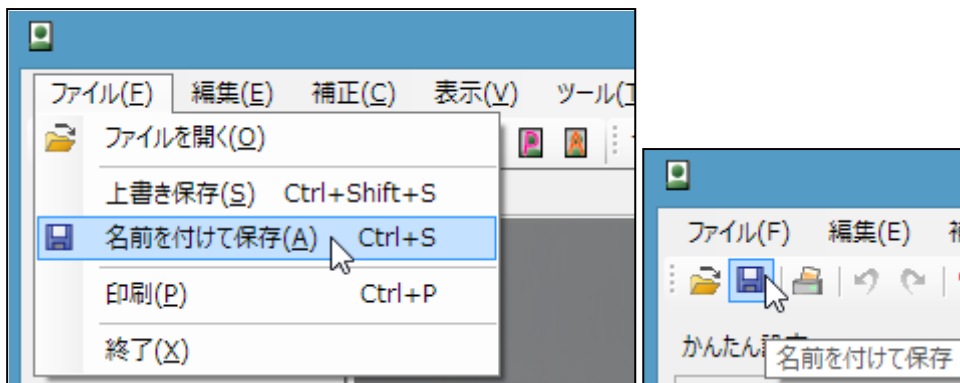


## 5. 写真をファイルに保存します。

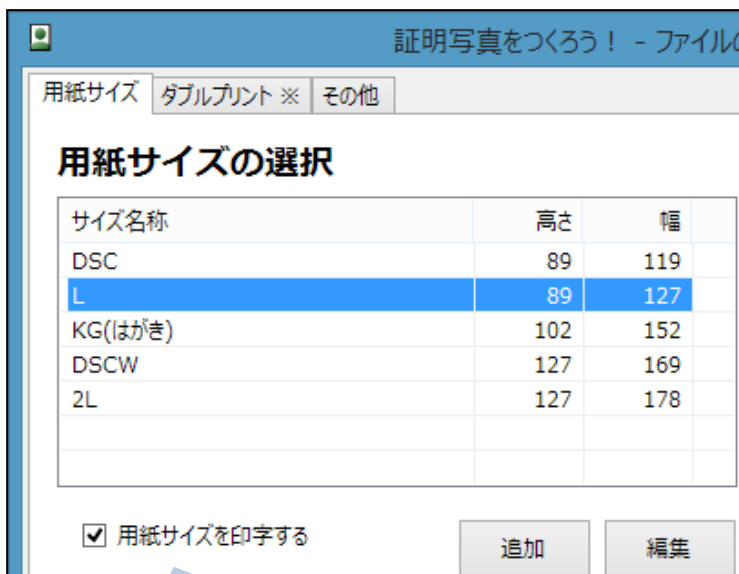
左側のメニューから「ファイルの保存」をクリックして、ファイルに保存します。



※上部メニューの「ファイル」－「名前を付けて保存(A)」をクリックした場合や、アイコンメニューの「名前を付けて保存」ボタンをクリックした場合も同じです。

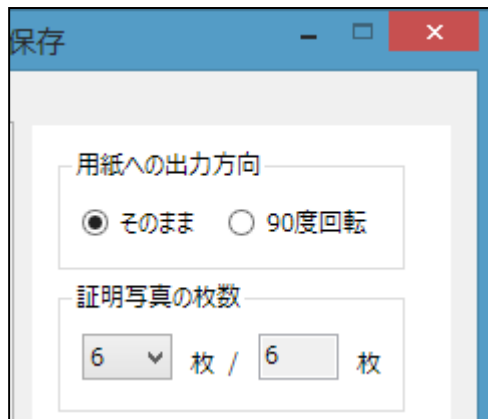


「ファイルの保存」画面が開くので、実際に印刷する用紙サイズを選択します。  
(この画面で選択したサイズの用紙に印刷しないと、正しい証明写真のサイズになりません。)



用紙サイズを印字する  
出力した画像に、用紙サイズを印字します。

「証明写真の枚数」が、実際に配置される証明写真の枚数です。



用紙への出力方向

「90度回転」にすると、配置できる枚数が増えることがあります。

証明写真の枚数

配置される証明写真の枚数。  
枚数を減らすこともできます。

6. 保存したファイルをプリントします。



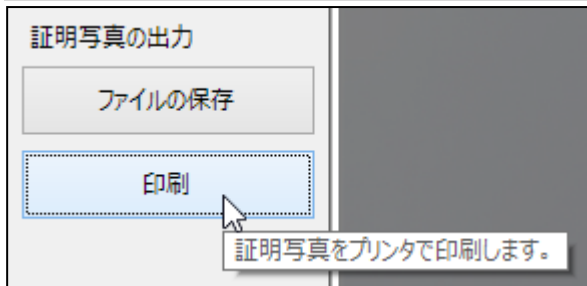
デジカメプリント、ネットDPEなどのサービスを利用し、指定した用紙サイズにプリントします。



## Ⅱ 【印刷機能】（有償オプション）の使い方

【印刷機能】を利用すると、ご自宅のプリンタで印刷することができます。  
（有償オプションは、Vector のシェアレジサービスにてご購入いただけます。）

### 1. 範囲選択後、「印刷」をクリックします。



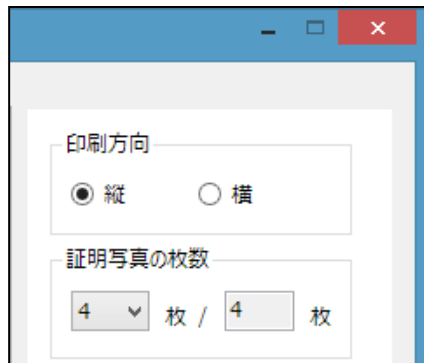
### 2. プリンタを選択し、用紙サイズなどの設定を行います。



使用するプリンタ・用紙サイズは、「設定画面を開く」から設定します。  
（※各社プリンタ独自の「フチなし機能」は利用しない設定を推奨）

### 3. 印刷する枚数を設定します。

「証明写真の枚数」が、実際にプリントされる証明写真の枚数です。



#### 印刷方向

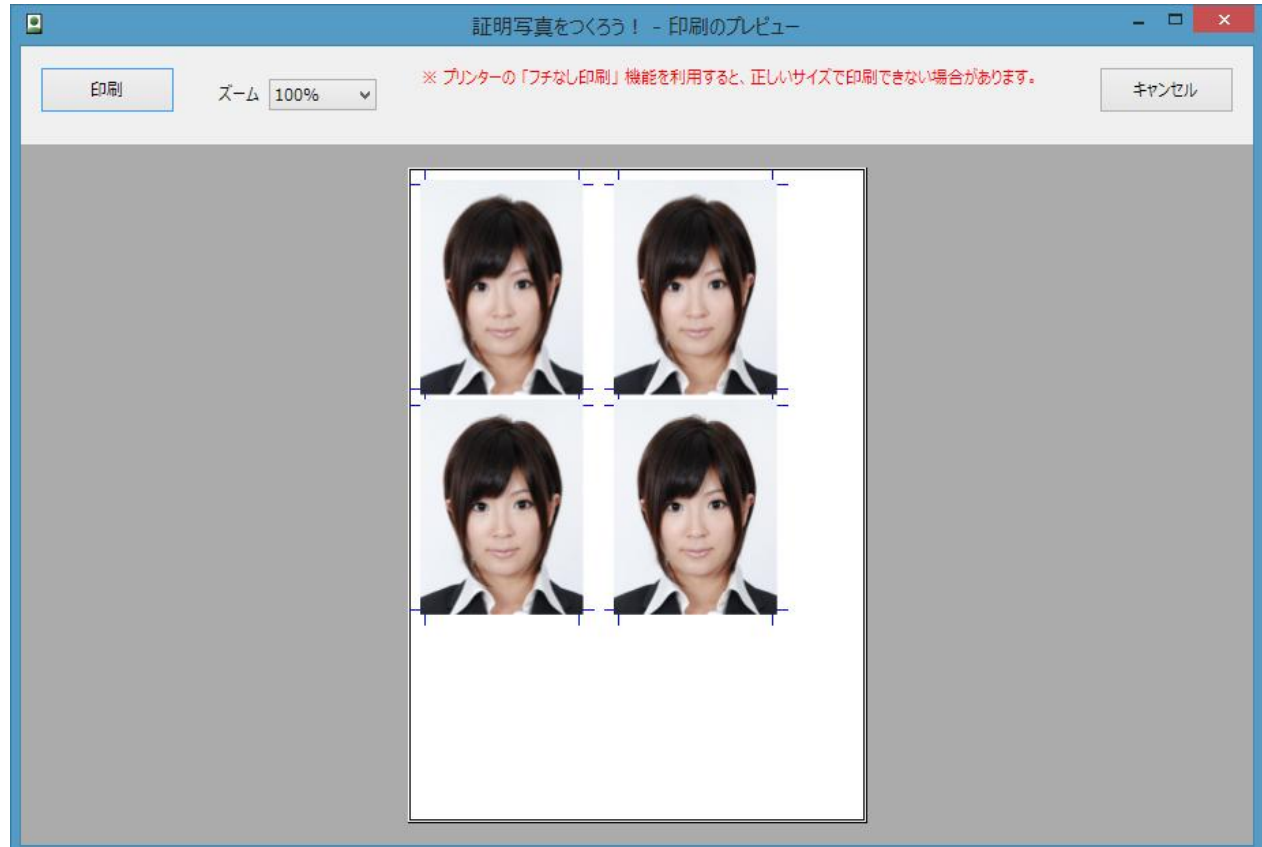
印刷方向を変えると、配置できる枚数が増えることがあります。

#### 証明写真の枚数

配置される証明写真の枚数。枚数を減らすこともできます。

### 4. 印刷プレビューを確認し、印刷を実行します。

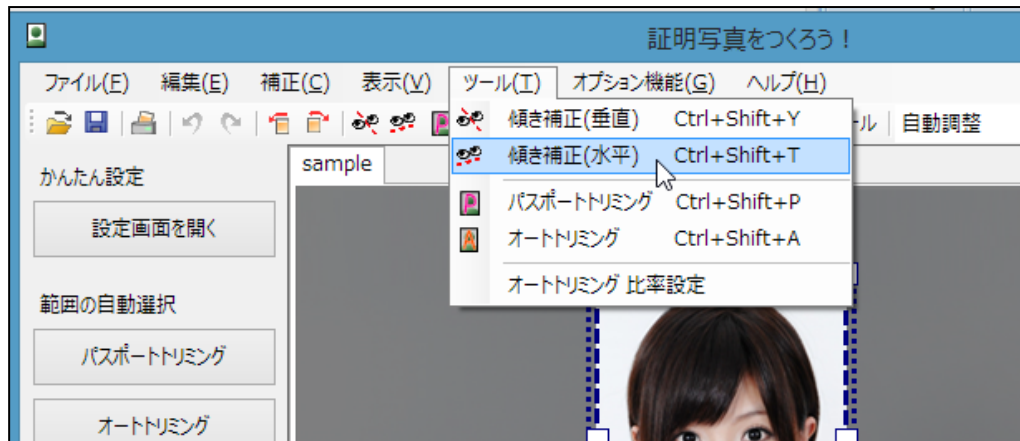
【印刷機能】のライセンスキーが登録されていない場合は、証明写真の左上に赤い「SAMPLE」文字が印字されます。(印刷機能をお試し頂くことができます)



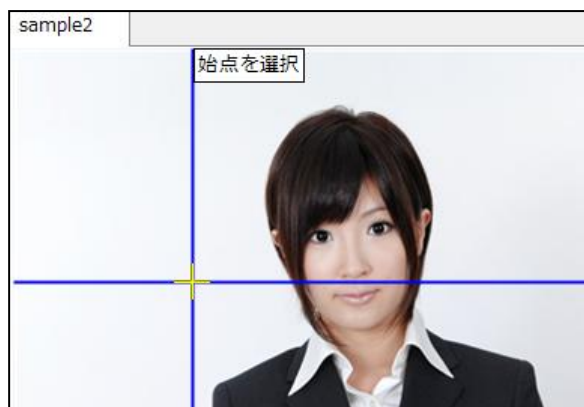
### Ⅲ 【傾き補正機能】（有償オプション）の使い方

【傾き補正機能】を利用すると、顔の傾きを補正することができます。  
（有償オプションは、Vector のシェアレジサービスにてご購入いただけます。）

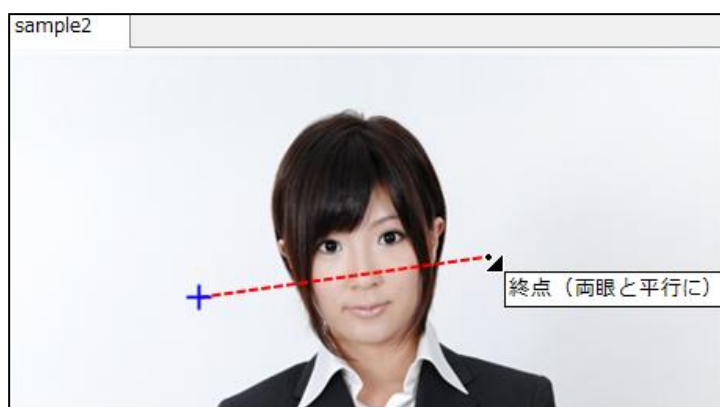
#### 1. 「傾き補正（水平）」をクリックします。



#### 2. 「始点」を決め、クリックします。



#### 3. 赤いラインが両眼と平行になるように「終点」を決め、クリックします。



#### 4. 顔の傾きが補正されます。



##### 「傾き補正（垂直）」について

上記の例では、「傾き補正（水平）」を利用して、赤いラインを両眼と平行になるようにしましたが、「傾き補正（垂直）」を利用すると、赤いラインを顔の中心を通る線と平行にすることで、顔の傾きを補正します。